

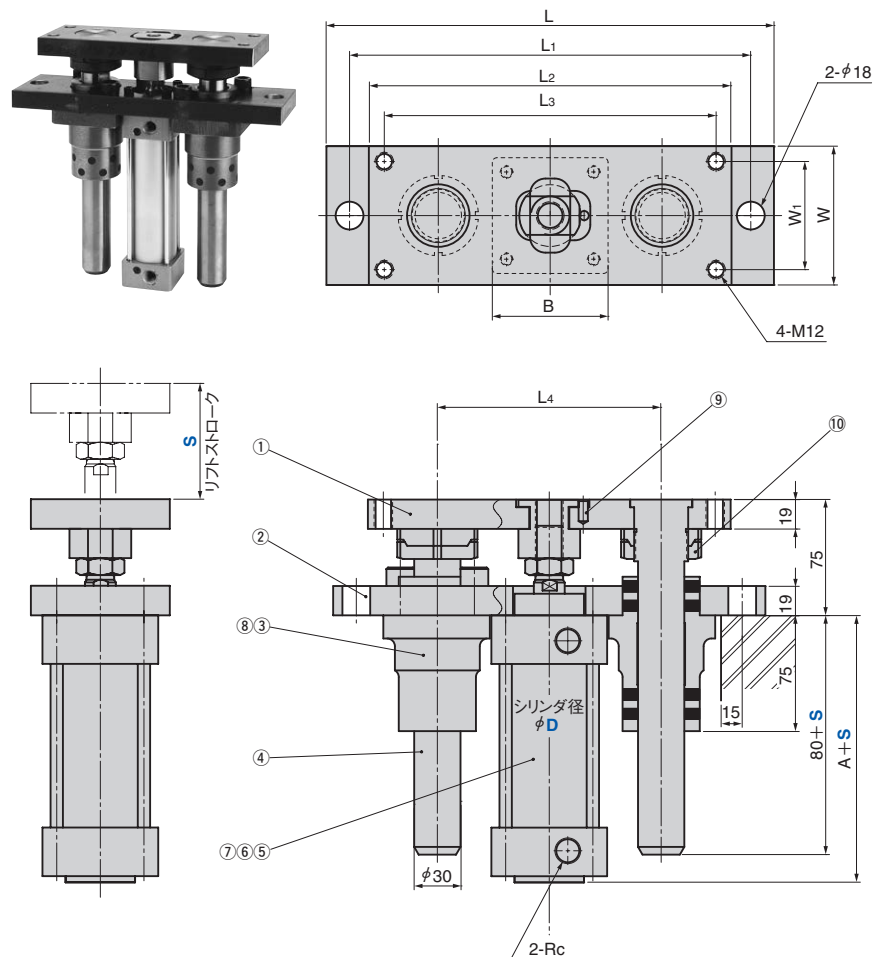
H型リフタ

上面フラットタイプ

H-TYPE LIFTER

HLSGF

CAD
FILE



No.	名 称	数	材質／備考
1	リフタプレート	1	Steel
2	シリンダホルダプレート	1	Steel
3	ガイドホルダ	2	SO#50F
4	ガイドピン	2	Steel
5	エアシリンダ	1	SMC 製 (φ 40) SMC 製 (φ 63)

No.	名 称	数	材質／備考
6	ジョイント	1	Steel
7	六角穴付ボルト	4	M6x35 (D=40) M8x35 (D=63)
8	六角穴付ボルト	4	M12x35
9	スプリングピン	1	φ 6x12
10	ハードロックナット	2	M35

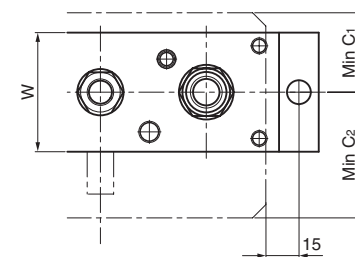
Catalog No.	シリンダ径 D	リフト ストローク S	A	B	Rc	L	L ₁	L ₂	L ₃	L ₄	W	W ₁
HLSGF	40	50	88	52	1/4	270	240	215	190	120	75	45
		75										
		100										
		125										
		150										
		175										
	63	50	98	75	3/8	290	260	235	215	145	90	70
		75										
		100										
		125										
		150										
		175										
		200										
		225										
		250										
		275										
		300										



Catalog No. D - S
HLSGF 40 - 100

■ご使用にあたって

シリンダの実働出力 空気圧力0.5MPaの時、φ40：約600x0.7=420N φ63：約1,500x0.7=1,050Nです。
取付けのための鋳抜き寸法は下図を目安としてください。



D	W	C ₁	C ₂
40	75	50	85
63	90	60	95

H型リフタ【概要】

OUTLINE OF H-TYPE LIFTER

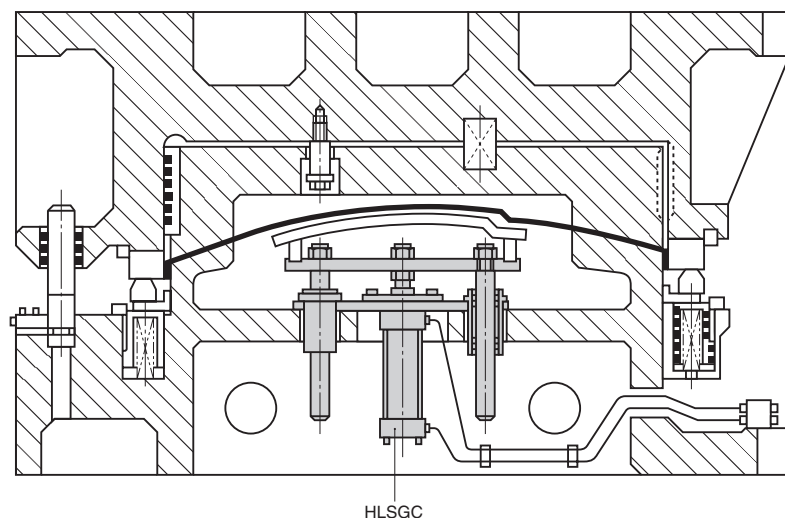
H型リフタとは

パネルのリフトアップに安定した機能を発揮する、空気圧利用のH型リフタです。

■特長

- ・堅ろうな構造のユニットで、安定したリフトアップ機能をもち、長期にわたって無給油で使用することができます。
- ・リフトアップのストローク長さも、10～300mmまでと、幅広くとりそろえています。
- ・スライド部はガイドポストタイプで、無給油化を図っています。
- ・小物パネルから大物パネルまでリフトアップに用いることができるよう、豊富な種類をとりそろえています。

■使用例

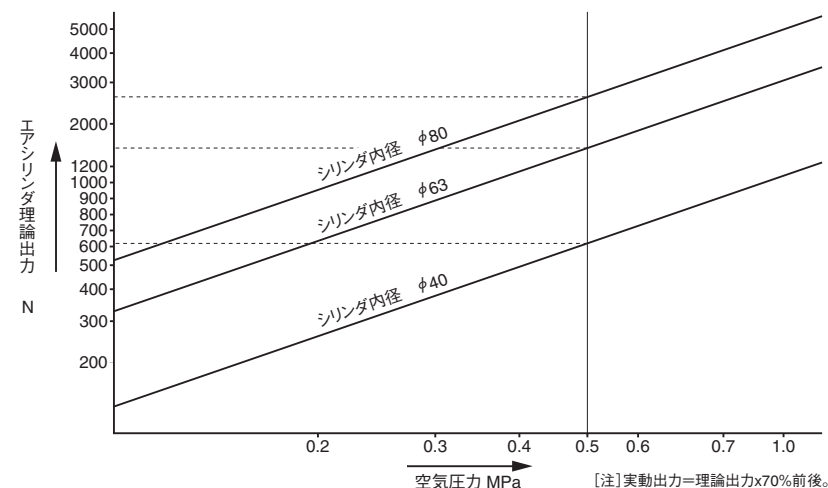


■H型リフタの規格選定手順例

所要リフトアップ力が、1000Nで所要ストロークが95mmのH型リフタを求める場合。

- 手順 1** エアシリンダ理論出力は、 $1000\text{N} \div 0.7 = 1430\text{N}$ 。右上グラフで理論出力の1430Nをとる。
一方、工場の空気圧力が0.5MPaである場合にその交点を求めると、シリンダ内径はφ63となり、HLSGT63-S(ストローク)となります。
- 手順 2** HLSGT63-S(ストローク)の中でパネルをリフトアップする所要ストロークが95mm以上のものは、S=100mm。
従って、HLSGT63-100となります。

●空気圧力とシリンダ出力

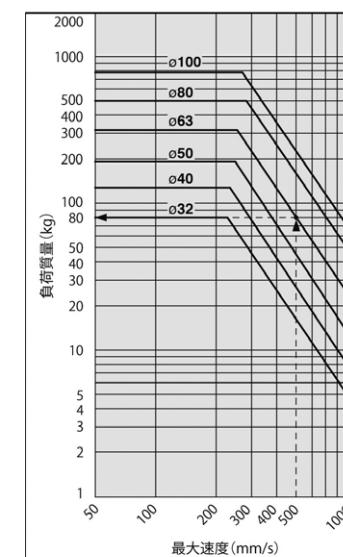


■ご使用にあたって

負荷質量によりシリンダロッドが破損する恐れがありますので、グラフ値内で使用してください。
また、速度制御のため、スピードコントローラの使用を推奨します。

ストロークが長い場合、パネルの位置決めでの使用は推奨しません。
精度が必要な場合は、別途ガイドを設定してください。

許容運動エネルギー



例) φ63のエアシリンダを最大速度500mm/sで動かすときのロッド先端負荷制限を求める。
グラフの横軸500mm/sより上に延長しチューブ内径63mmのラインとの交点を左に延長し負荷80kgが求められます。